

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	豊野高等専修学校(専門課程)
設置者名	学校法人豊野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	文化創造学科 服飾造形コース	夜・通信	42 単位	6 単位	
	文化創造学科 情報デザインコース	夜・通信	46 単位	6 単位	
	文化創造学科 和裁コース	夜・通信	44 単位	6 単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	豊野高等専修学校
設置者名	学校法人豊野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	農業	R2. 4. 1- R6. 3. 31	行政の立場からの 学校運営への意見
非常勤	税務会計事務所	R2. 4. 1- R6. 3. 31	経理面での正常な 学校経営への意見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	豊野高等専修学校（専門課程）
設置者名	学校法人豊野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、デュプロマポリシーの3ポリシーの公開で本校の求める人材やカリキュラム等を明確化し、到達目標、学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容、授業の方法及び内容、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を作成している。 ・シラバスの作成過程として、カリキュラムポリシーに則り毎年度、後期1月末に今年度のシラバス内容について点検し、次年度に向けたカリキュラムを各教員が作成・収集し、到達目標、学習・教育目標を達成するのに必要な内容であるかを確認する。3月末にシラバスを公表する。 	
授業計画書の公表方法	<p>本校のホームページ http://toyonosenshu.ed.jp</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本校では、評価項目に関する到達レベルを縦軸横軸で評価する「ルーブリック評価」を採用している。卒業研究や学園祭でのプレゼンテーション（ファッションショーやコンテスト等）への取り組み、制作物課題の完成度等を成績評価に取り入れている。</p> <p>また、学習に対する準備の状況や意欲・態度も評価の項目として取り入れている。</p> <p>制作物（作品）の記録とそれに伴う学修ポートフォリオを作成し、自己評価もまじえて、取り組み意欲の評価としている。あらかじめ設定した成績評価の方法・基準を学生に知らせることにより、厳格かつ適正に単位授与・履修認定し、認定基準を満たした学生に対して、専門士の称号を授与している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

◆成績の評価方法とGP (グレードポイント)

評価	評価点	GP	合否
A (優)	80 点以上	4 点	合格
B (良)	70～79 点	3 点	合格
C (可)	60～69 点	2 点	合格
D (不可)	59 点以下と履修放棄	0 点	不合格

グレードポイントから下記式で判定しそれぞれの適切な成績評価を実施する。

$$GPA = \frac{(4.0 \times A \text{ の修得単位数} + 3.0 \times B \text{ の修得単位数} + 2.0 \times C \text{ の修得単位数})}{\text{総履修単位数}}$$

上記の設定した算定式により、GPA 等の数値を算出して学生の学修状況を掌握している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

本校のホームページ
<http://toyonosenshu.ed.jp>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校の教育方針に基づき、「人格形成とともに、専門的知識や技能の習得・資格取得など、地域社会の発展のためにその力を発揮でき、自分の目標に向かって、創造・工夫・努力を惜しまない人になること」を最終教育目標とします。厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、専門士の称号を授与します。

■服飾造形コース

1. 優れた知識・技能者として豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有している。
2. リーダーシップやフォロアーシップを組織やグループの中で発揮できる。
3. ファッション造形の専門ニーズに柔軟に対応でき、社会・地域に貢献できる能力を有している。
4. ファッション造形の専門士としての知識・技術態度を身に付けている。
5. 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること。

■和裁コース

1. 優れた知識・技能者として豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有している。
2. リーダーシップやフォロアーシップを組織やグループの中で発揮できる。
3. 和裁の専門ニーズに柔軟に対応でき、社会・地域に貢献できる能力を有している。
4. 和裁の専門士としての知識・技術態度を身に付けている。
5. 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること。

■情報デザインコース

1. 優れた知識・技能者として豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有している。
2. リーダーシップやフォロアーシップを組織やグループの中で発揮できる。
3. 情報処理の専門ニーズに柔軟に対応でき、社会・地域に貢献できる能力を有している。
4. 情報処理の専門士としての知識・技術態度を身に付けている。
5. 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること。

以上のデュプロマポリシーに則り卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数をふまえ、卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本校のホームページ
<http://toyonosenshu.ed.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	豊野高等専修学校
設置者名	学校法人豊野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp
財産目録	本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp
事業報告書	本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp
監事による監査報告（書）	本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	文化創造学科 服飾造形コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間／62 単位	200 単位 時間/10 単位	400 単位 時間/20 単位	1120 単位 時間/32 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		1720 単位時間／62 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		4人	0人	3人	9人	12人	

本校はコースごとの学生定員・教員数を決めていないため、総定員数の内数とする

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）洋裁理論Ⅰ・洋裁理論Ⅱ・工芸デザインにおいては20単位時間の履修をもって1単位とし、縫製造形実習Ⅰ・Ⅱにおいては35単位時間の履修をもって1単位とする。色彩学・ファッションイラスト・ファッションデザイン・パターンメイキング・ビジネスマナーは20単位時間の履修をもって1単位とする。
成績評価の基準・方法
（概要）就業年限は2年以上とし、2年終了時で取得総単位数が62単位を越えていること。課題教材作品が仕上がっていること。各教科の評価がA(100-80点)B(79-70点)C(69-60点)D(59点以下)のいずれかであること。Dの場合は不認定とし、再度補習を受け試験を受けることを許可する。最終的な判断は校長が行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）出席すべき日数は1/3とし、本専門課程修了は決められた教育課程を修了し、さらに平素の成績・素行・勤怠等を通して評価して、校長がこれを行う。

学修支援等
(概要) 学生が個別の支援を必要とし、申し出た場合は、担当指導者が最高 10 時間以内において指導を行うことができる。(正式な手続をもって補習の申し込みをした場合は、補習 1 時間につき 500 円の指導料を学校側に支払う)

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 () (%)	0 人 () (%)	0 人 () (%)
(主な就職、業界等) 直近令和 2 年度は卒業生が 0 名。過去においてフレックスジャパン、きものブレイン、まるため、などのきもの業界、服飾関係の販売員としての就職、介護施設、旅館業への就職あり。			
(就職指導内容) 各種企業との連携をはかっている。ハローワークからの紹介もあるが、本校は就職斡旋施設に指定されているので、連携企業へインターンシップ(長期)を行い、企業と学生のマッチングを大切に考えている。インターンシップを行う中で、自らの良さを生かせる就職先を斡旋している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩検定、日本洋裁技術検定初級・中級、全国服飾学校ファッション画コンクール出品。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 平素からスクールカウンセラー、相談コーディネーター、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーを配置し教育相談にはきめ細かい配慮を行っている。		

学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	文化創造学科 和裁コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1700 単位時間/62 単位	100 単位 時間/5 単 位	460 単位 時間/23 単位	1190 単位 時間/34 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
1750 単位時間/62 単位							

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	0人	0人	3人	9人	12人

本校はコースごとの学生定員・教員数を決めていないため、総定員数の内数とする

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）和裁理論は20単位時間の履修をもって1単位とし、服飾理論も20単位時間の履修をもって1単位とする。和裁実習は35単位時間の履修をもって1単位とする。和裁課題研究は35単位時間の履修をもって1単位とする。Office応用は和裁に係わる学生においても情報活用の必要性があるため、新規にシラバスに取り入れた。
成績評価の基準・方法
（概要）就業年限は2年以上とし、2年終了時で取得総単位数が62単位を越えていること。課題教材作品が仕上がっていること。各教科の評価がA(100-80点)B(79-70点)C(69-60点)D(59点以下)のいずれかであること。Dの場合は不認定とし、再度補習を受け試験を受けることを許可する。最終的な判断は校長が行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）出席すべき日数は1/3とし、本専門課程修了は決められた教育課程を修了し、さらに平素の成績・素行・勤怠等を通して評価して、校長がこれを行う。
学修支援等
（概要）学生が個別の支援を必要とし、申し出た場合は、担当指導者が最高10時間以内において指導を行うことができる。（正式な手続をもって補習の申し込みをした場合は、補習1時間につき500円の指導料を学校側に支払う）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等）直近令和2年度は生活総合学科において卒業生が1名。本校の科目履修コースへ進む。過去においてフレックスジャパン、きものブレイン、まるため、などのきもの業界、服飾関係の販売員としての就職、介護施設、旅館業への就職あり。			
（就職指導内容）各種企業との連携をはかっている。ハローワークからの紹介もあるが、本校は就職斡旋施設に指定されているので、連携企業へインターンシップ(長期)を行い、企業と学生のマッチングを大切に考えている。インターンシップを行う中で、自らの良さを生かせる就職先を斡旋している。			
（主な学修成果（資格・検定等））色彩検定、日本洋裁技術検定初級・中級、全国服飾学校ファッション画コンクール出品。和裁技能士二級、三級。			
（備考）（任意記載事項）全国規模で展開する「きものブレイン」と加工委託契約を締結している。各自の技能に応じて学生でも注文契約が可能となっている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 平素からスクールカウンセラー、相談コーディネーター、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーを配置し教育相談にはきめ細かい配慮を行っている。		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	文化創造学科 情報デザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間／62 単位	80 単位時 間/4 単位	640 単位 時間/32 単位	980 単位 時間/28 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1700 単位時間／64 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		8人	0人	3人	9人	12人	

本校はコースごとの学生定員・教員数を決めていないため、総定員数の内数とする

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) Office 応用、ビジネスマナー、コミュニケーション等は 20 単位時間の履修をもって 1 単位とし、情報課題研究Ⅰ、情報課題研究Ⅱは 35 単位時間をもって 1 単位とする。情報課題研究にはインターンシップも含む。映像・デザイン概論プログラミング基礎、ビジネスモデル研究は 20 単位時間をもって 1 単位とする。
成績評価の基準・方法
(概要) 就業年限は 2 年以上とし、2 年終了時で取得総単位数が 62 単位を越えていること。課題教材作品が仕上がっていること。各教科の評価が A(100-80 点)B(79-70 点)C(69-60 点)D(59 点以下)のいずれかであること。D の場合は不認定とし、再度補習を受け試験を受けることを許可する。最終的な判断は校長が行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 出席すべき日数は 1/3 とし、本専門課程修了は決められた教育課程を修了し、さらに平素の成績・素行・勤怠等を通して評価して、校長がこれを行う。
学修支援等
(概要) 学生が個別の支援を必要とし、申し出た場合は、担当指導者が最高 10 時間以内において指導を行うことができる。(正式な手続をもって補習の申し込みをした場合は、補習 1 時間につき 500 円の指導料を学校側に支払う)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 ()%	0人 ()%	0人 ()%
（主な就職、業界等）令和2年度に設置されたコースのため卒業生はなし。			
（就職指導内容）企業との連携、企業からの講師の派遣、長期インターンシップを行い、企業のニーズをもとに、専門的技術を習得する。			
（主な学修成果（資格・検定等））情報教育に係わる各種資格を取得させ、企業のニーズにもとづく画像処理や映像・音声編集、プロモーションビデオ制作など現場と直結した技能の習得を目指す。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）平素からスクールカウンセラー、相談コーディネーター、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーを配置し教育相談にはきめ細かい配慮を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載 事項)
文化創造学科 服飾造形コース	200,000 円	612,000 円	256,000 円	施設費等含む
文化創造学科 和裁コース	200,000 円	612,000 円	256,000 円	施設費等含む
文化創造学科 情報デザインコース	200,000 円	612,000 円	256,000 円	施設費等含む
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://toyonosenshu.ed.jp		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 委員会は学校長の諮問に応じ、本校の自己点検・評価の結果をふまえ、本校の教育活動、学校運営に関する事項を検証し、学校運営の改善をはかることを目的とする。学生の教育活動の改善向上に役立てる。評価内容は「シラバスにもとづく授業内容」「学校運営全般」等、評価委員の構成は「地域住民」「保護者」「大学関係者」と本校校長・副校長。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北信濃線・飯山線豊野駅	2021年4月1日から 2022年3月31日	地域住民・公的交通機関関係者
本校PTA	2021年4月1日から 2022年3月31日	保護者
信州大学	2021年4月1日から 2022年3月31日	大学関係者
長野工業高等専門学校	2021年4月1日から 2022年3月31日	大学関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://toyonosenshu.ed.jp		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<http://toyonosenshu.ed.jp>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	豊野高等専修学校(専門課程)
設置者名	学校法人豊野学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者(家計急変による者を除く)		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者(年間)				一人
合計(年間)				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る。）、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	1人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	1人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。